



2024年3月期
決算説明会資料
(2024年5月27日)

SHINWA CO.,LTD.

Contents

Chapter
01 | 会社概要

Chapter
02 | 2024年3月期決算概要

Chapter
03 | 2025年3月期 業績見通し

Chapter
04 | 中期経営計画の概要

| Chapter 01 |

会社概要

SHINWA CO.,LTD.

パーパス

いのちを守り、 未来を支える。

私たちグループが提供する製品・サービスは
全て使い手の命や生活に直結しています。

『安心して使える』という価値提供により
命と生活を守るのが、私たちの存在意義です。

価値提供の積み重ねにより、
街が栄え、生活が豊かになり、
ひいては社会全体が永続していくことが
私たちの描く未来です。



企業概要

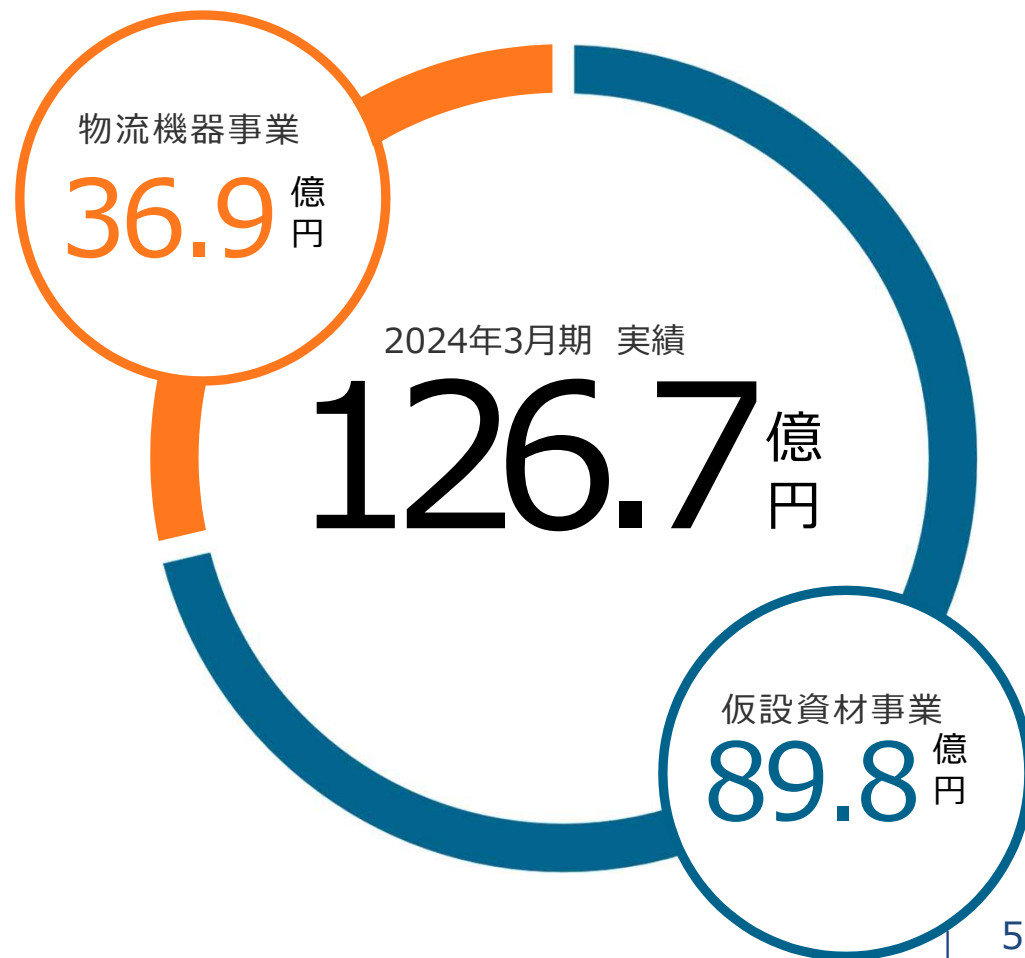
商号	信和株式会社
本社	岐阜県海津市
代表者	代表取締役社長 則武 栗夫
創業	1977年9月
資本金	153百万円
従業員数	143名（2024年3月末現在）
証券コード	3447（東証スタンダード、名証プレミア）

沿革

- 1977 信和商店として事業を開始
- 1978 仮設資材「ジャッキベース」の製造販売を開始
- 1988 「シンワキャッチャー」を開発、システム足場市場に進出
- 2003 物流機器部門を設立
- 2018 東京証券取引所、名古屋証券取引所に株式を上場
- 2024 大手足場施工会社を株式取得によりグループ化

SHINWA CO.,LTD.

事業構成



Copyright© Shinwa Co., Ltd. All rights reserved.

| Chapter 02 |

2024年3月期決算概要

SHINWA CO.,LTD.

2024年3月期 決算ハイライト

売上収益

12,678百万円（前年同期比▲14.1%）

仮設資材部門においては、資材価格、製品価格の高止まりによりレンタルで調達する流れが根強く続いているほか、人手不足を背景に工事の着工が延期するなどの状況が生じている。
また、物流機器部門では需要変動に伴う自動車部品用パレットの受注量の減少や、電気機器向けをはじめとするスポット案件が来期以降にずれ込んだ。
その結果として、売上収益全体は前年同期比 14.1%減

売上
総利益

2,797百万円（前年同期比▲20.1%）

売上収益減少に伴い売上総利益額も減少。資材価格の高止まり、協力会社からの取引価格の改定協力要請によるコスト上昇等の影響により、売上総利益率は前年同期比 1.6ポイント減の22.1%

営業利益

700百万円（前年同期比▲53.4%）

売上収益の減少に加え、人的資本への投資・還元費用や株主優待制度導入費用が発生。また、特殊要因として子会社株式取得に伴うアドバイザー費用を計上
営業利益率は前年同期比 4.7ポイント減の5.5%

当期
利益(※)

409百万円（前年同期比▲59.3%）

当期利益率、前年同期比 3.6ポイント減の3.2%

※親会社の所有者に帰属する当期利益
当期利益率(%) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 売上収益 × 100

トピックス

- ・ 2023年05月12日 中間配当の実施・株主優待制度の新設を発表
- ・ 2023年10月02日 橋梁用システム足場「ラピッドフロア」の共同開発を発表
- ・ 2024年03月14日 株式会社CTR（以下、「ヤグミグループ」と総称）の株式の取得（子会社化）を発表

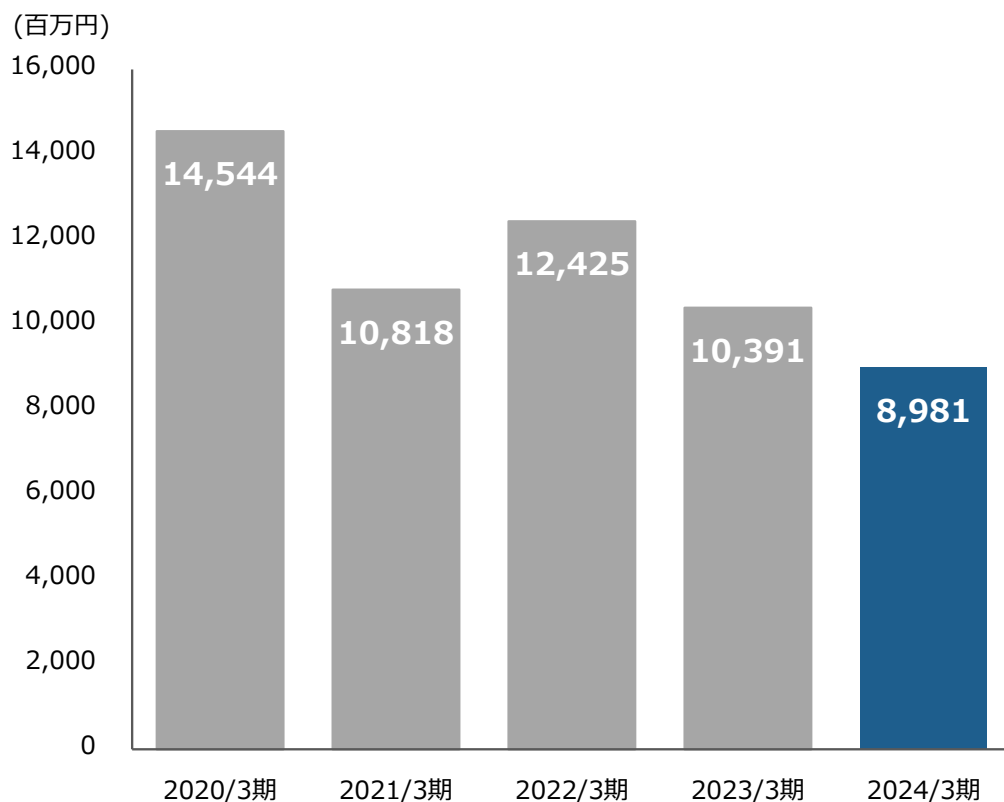
2024年3月期 連結業績

(IFRS・百万円)

	2022.3月期	2023.3月期	2024.3月期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	16,063 (100.0%)	14,757 (100.0%)	12,678 (100.0%)	▲2,078 (▲14.1%)
仮設資材部門	12,425 (77.4%)	10,391 (70.4%)	8,981 (70.8%)	▲1,410 (▲13.6%)
物流機器部門	3,637 (22.6%)	4,365 (29.6%)	3,697 (29.2%)	▲667 (▲15.3%)
売上総利益	4,166 (25.9%)	3,499 (23.7%)	2,797 (22.1%)	▲701 (▲20.1%)
販管費等	2,031 (12.6%)	1,997 (13.5%)	2,097 (16.5%)	+99 (+5.0%)
営業利益	2,135 (13.3%)	1,501 (10.2%)	700 (5.5%)	▲801 (▲53.4%)
親会社に帰属する当期純利益	1,452 (9.0%)	1,007 (6.8%)	409 (3.2%)	▲598 (▲59.3%)

部門別の状況／仮設資材部門

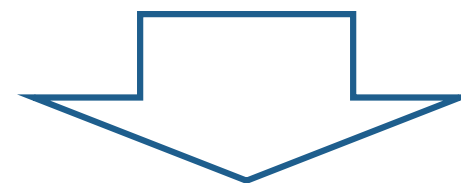
売上収益の推移



SHINWA CO.,LTD.

当期連結累計期間の状況

- 仮設資材は一定の需要はあるものの、購買ではなくレンタルでの調達や、建設従事者の人手不足などによる工事着工の延期などにより、主にくさび緊結式足場の顧客において資材調達の先送りが見られた。
- 2023年3月期においては、製品価格改定前の集中的な購買の動きがあったことから、前期比で販売量が減少

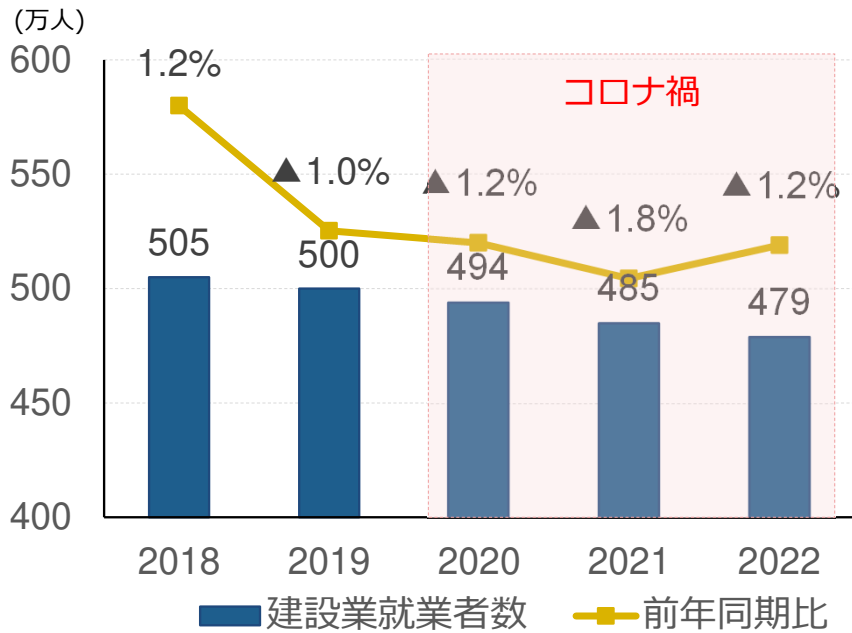


**売上収益8,981百万円
前年同期比13.6%減となった。**

建設業就業者数及び建設技能者数 (※) の推移

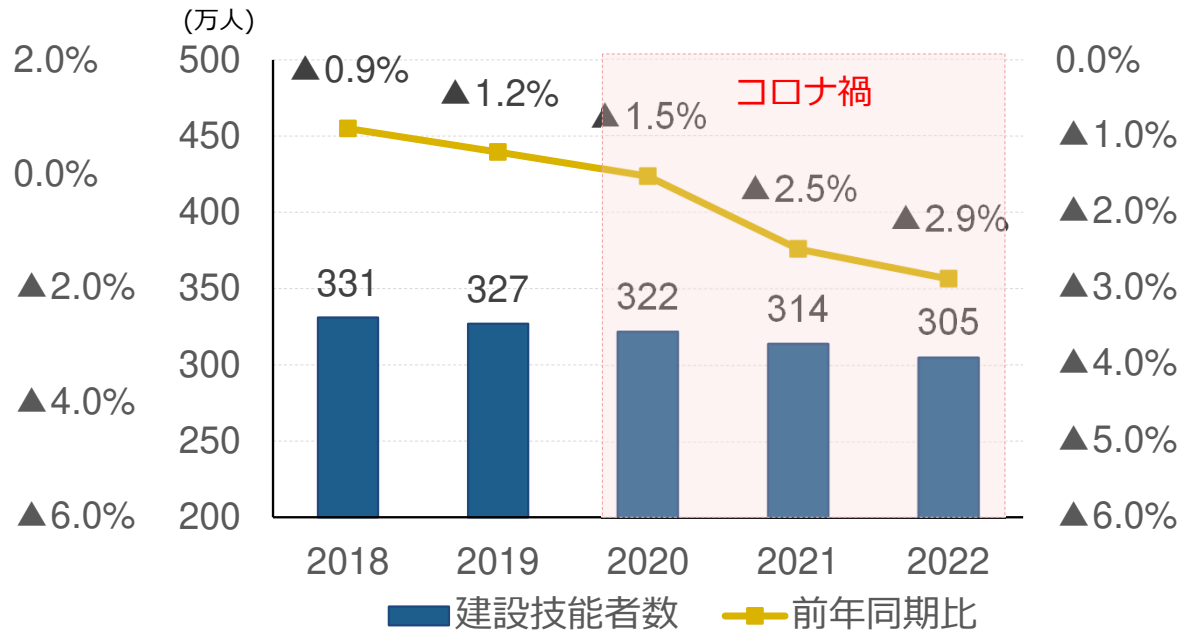
建設業就業者数は年々減少しており、特に建設技能者数はコロナ禍が始まった2020年以降、減少幅が拡大

建設業就業者数の推移



出典：総務省「労働力調査」

建設技能者数の推移



出典：総務省「労働力調査」

(※) 建設技能者数：建設工事の直接的な作業を行う、技能を有する労働者の数

(※) 建設業就業者数：上記建設技能者に、営業職・事務職・設計職・管理職・技術職等に従事する労働者を加えた数

TOPICS 1 橋梁用システム足場「ラピッドフロア」(※)を共同開発

高品質・高効率な橋梁用システム足場を共同開発を通じて、仮設業界ひいては建設業界の課題解決に貢献

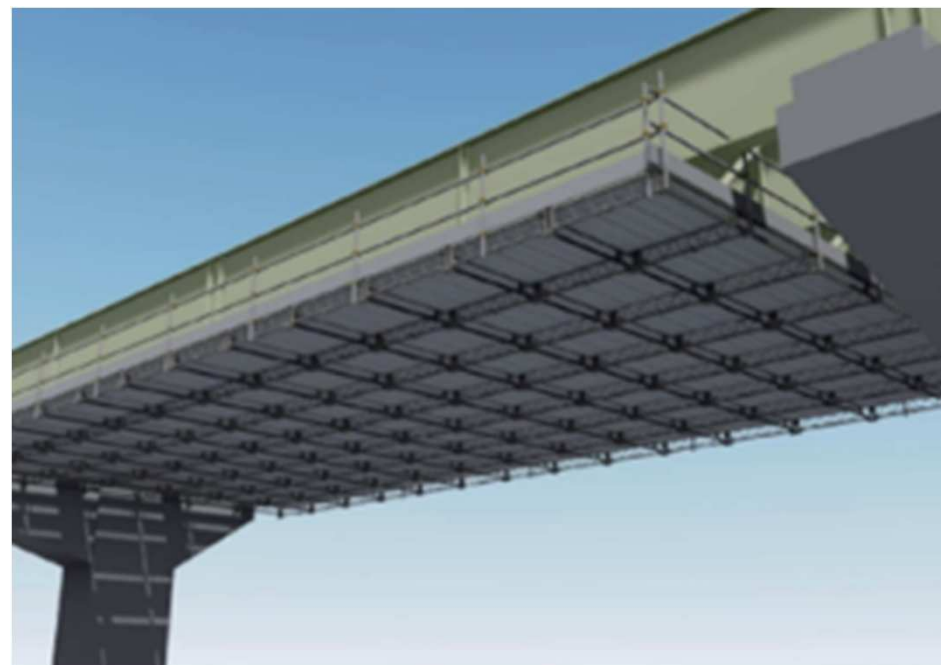
課題

- 老朽化した道路橋などのインフラ施設の維持補修
- 施工できる技術を持つ職人の不足

メリット

- 吊チェーン間隔1.8mの広い作業スペース
- 足場上から安全な張り出し施工による組立・解体が可能のため、高所作業車の使用を削減
- 簡単かつ安全・スピーディに施工できるため、作業工数および作業日数の短縮による施工コスト削減を実現

ラピッドフロア設置イメージ



(※) 特許番号 第6957723号、第7179924号

国土強靱化計画

橋梁用システム足場「ラピッドフロア™」は政府による国土強靱化計画に沿った製品。
国土強靱化関連予算は拡大を続けており、増加する需要に応えるべく、
2024年度の市場投入を目指し、各種申請・試験を実施中

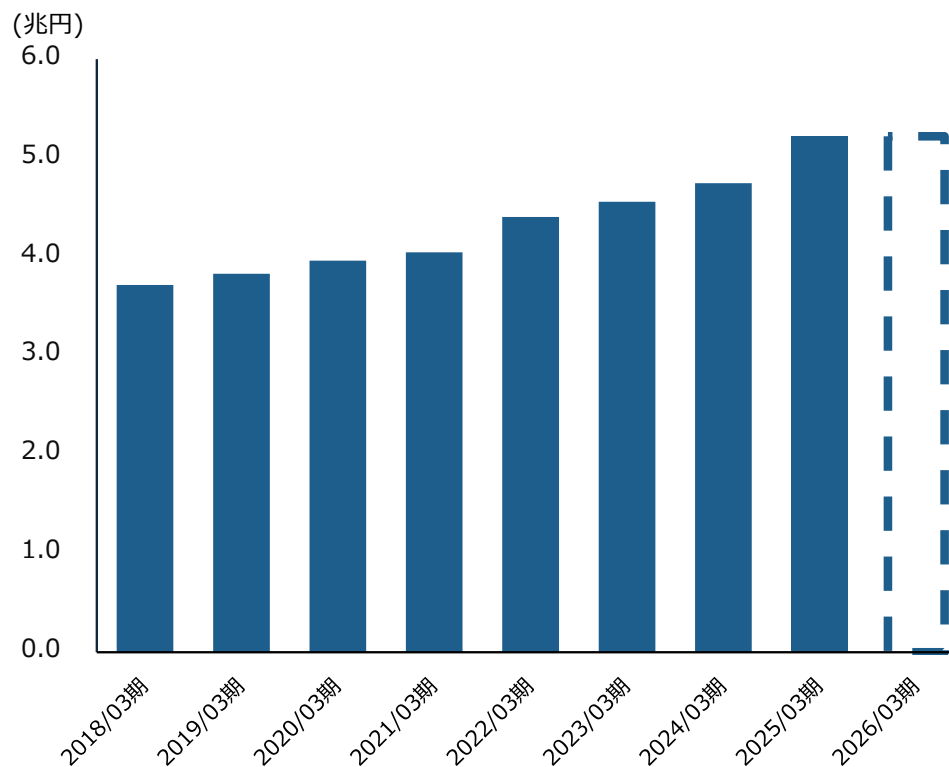
国土強靱化とは

地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり、地域づくりを目指す国の取り組み

- 橋脚・高速道路などのインフラ老朽化対策等のための戦略的な維持管理・更新の推進
- 橋梁、トンネル等の耐震化の促進
- 鉄道施設等の防災・減災対策 など

政府方針として継続的・安定的かつ強力に推進されることが示されている。

国土強靱化関連予算の推移

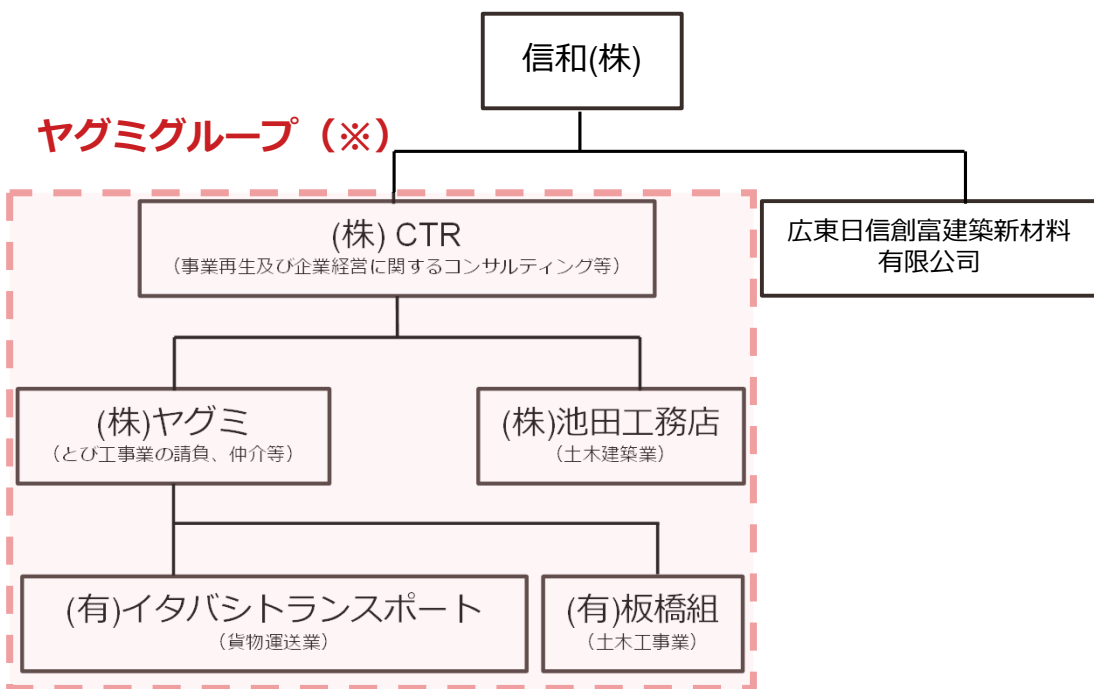


出典：内閣官房「国土強靱化関係予算案の概要」

TOPICS 2 (株) CTR (ヤグミグループ) を株式の取得により子会社化

東海地方で最大規模、全国でも有数の仮設施工企業であるヤグミグループを取得し、当社の製造販売機能に施工サービス機能を加えることで、新たなサービスを創出する。

信和グループ組織図



※ヤグミグループは上記のほか、Kisaragi Global Link協同組合（人材紹介業）を有しております。

SHINWA CO.,LTD.

過去3年間の連結経営成績および連結財政状態 (※)

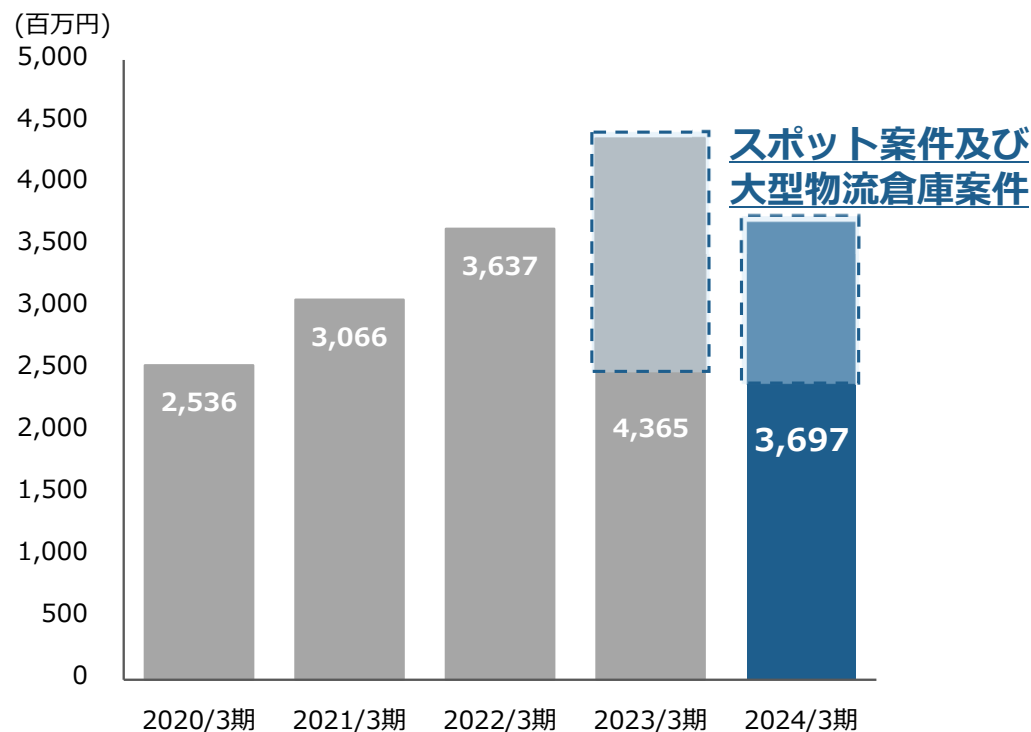
(百万円)

	2021.11 月期	2022.11 月期	2023.11 月期
連結純資産	578	807	946
連結総資産	3,456	3,062	2,955
連結売上高	3,079	4,084	3,766
連結営業利益	76	171	249
連結経常利益	103	226	264
連結当期純利益	▲193	336	147

※ヤグミグループは非上場企業であり、連結決算を実施していないため、ヤグミグループ各社の各決算期を単純合算した数値を記載しております。

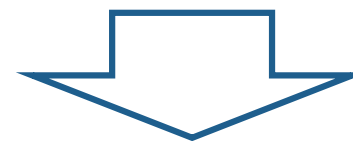
部門別の状況／物流機器部門

売上収益の推移



当期累計期間の状況

- 大型物流倉庫などリピート案件を中心に安定した受注は見受けられた。
- 需要変動に伴う自動車部品用パレットの受注量減少
- 電気機器向けをはじめとするスポット案件が来期以降にずれ込んだ。

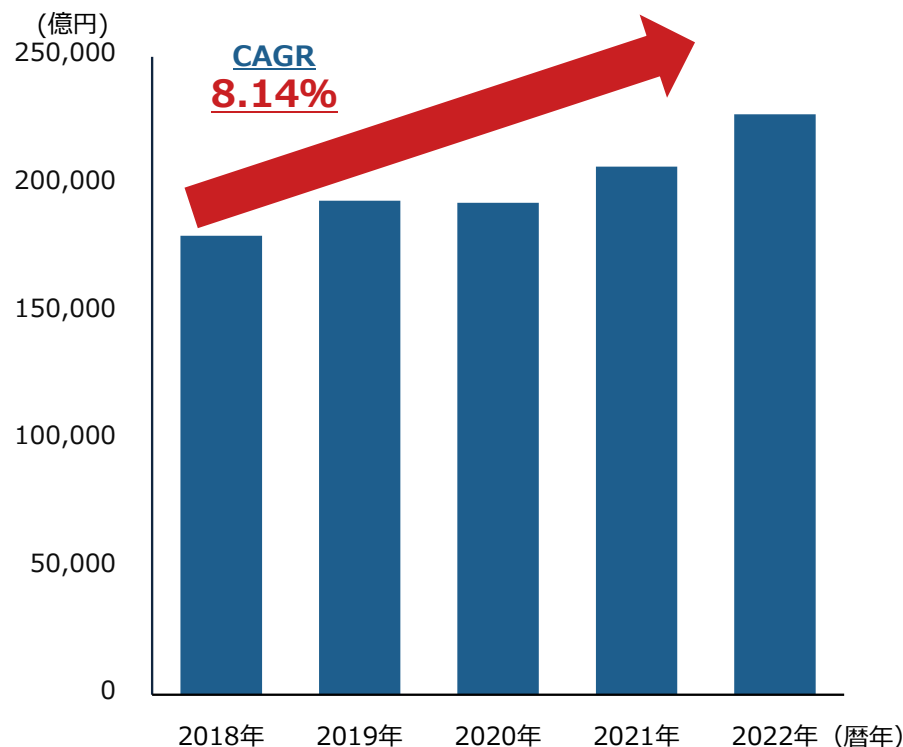


売上収益3,697百万円
前年同期比15.3%減となった。

EC市場規模と倉庫・物流施設工事受注額の推移

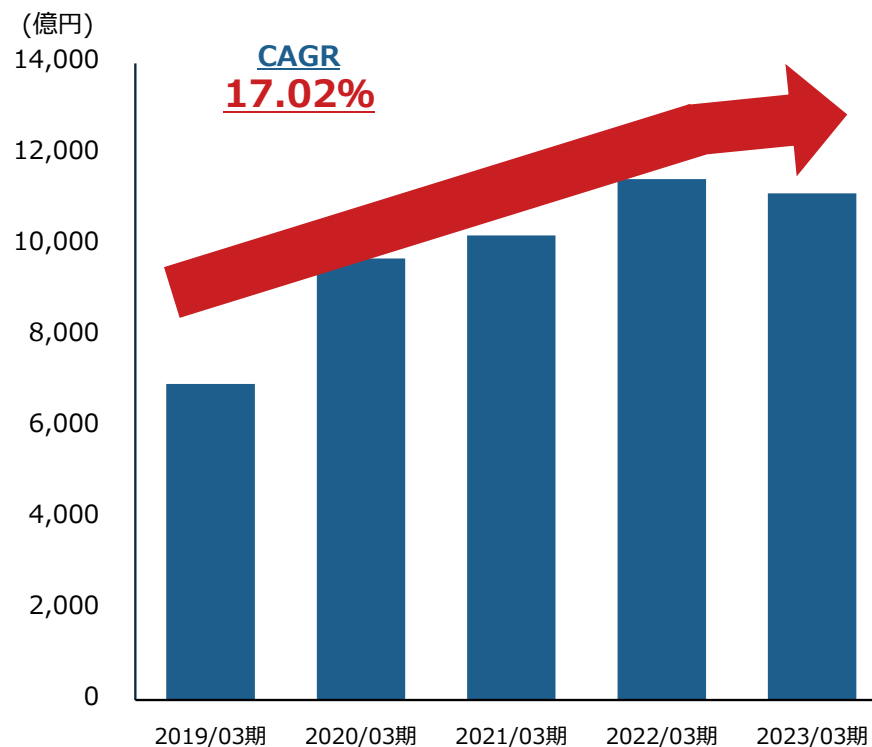
EC市場規模の拡大に伴い、倉庫・物流施設の工事受注額の拡大は続いており、当社における物流倉庫関連の案件も継続的に受注獲得中

EC市場規模の推移



出典：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」

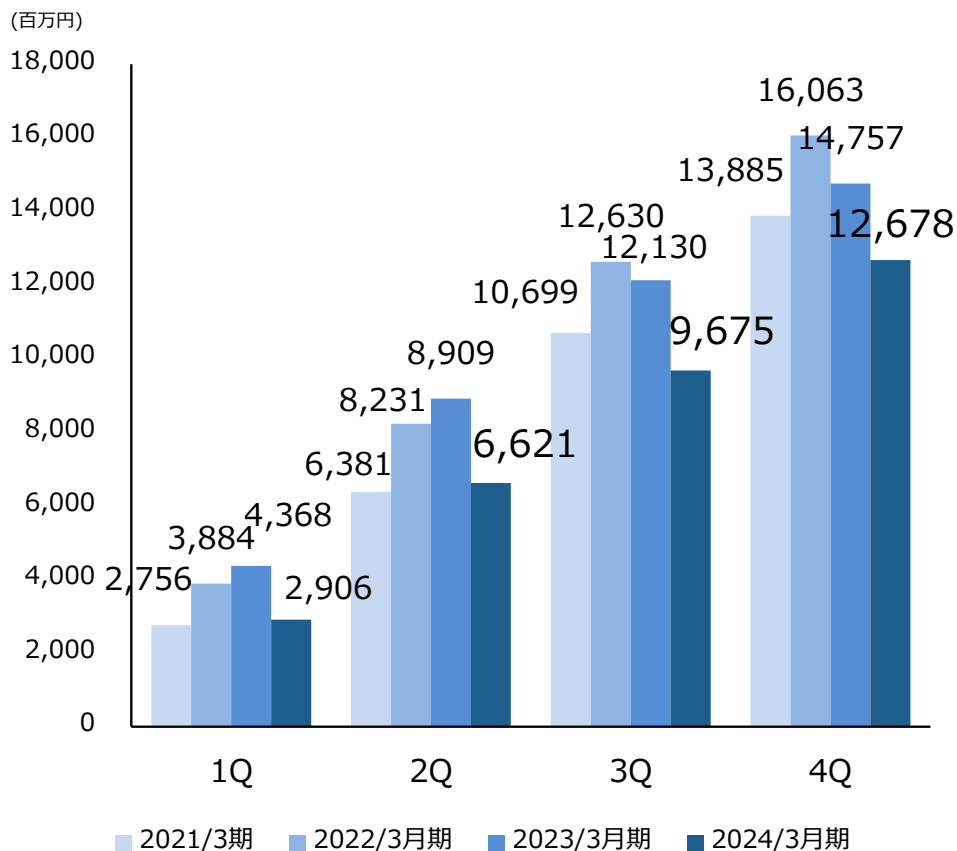
倉庫・物流施設工事受注額の推移



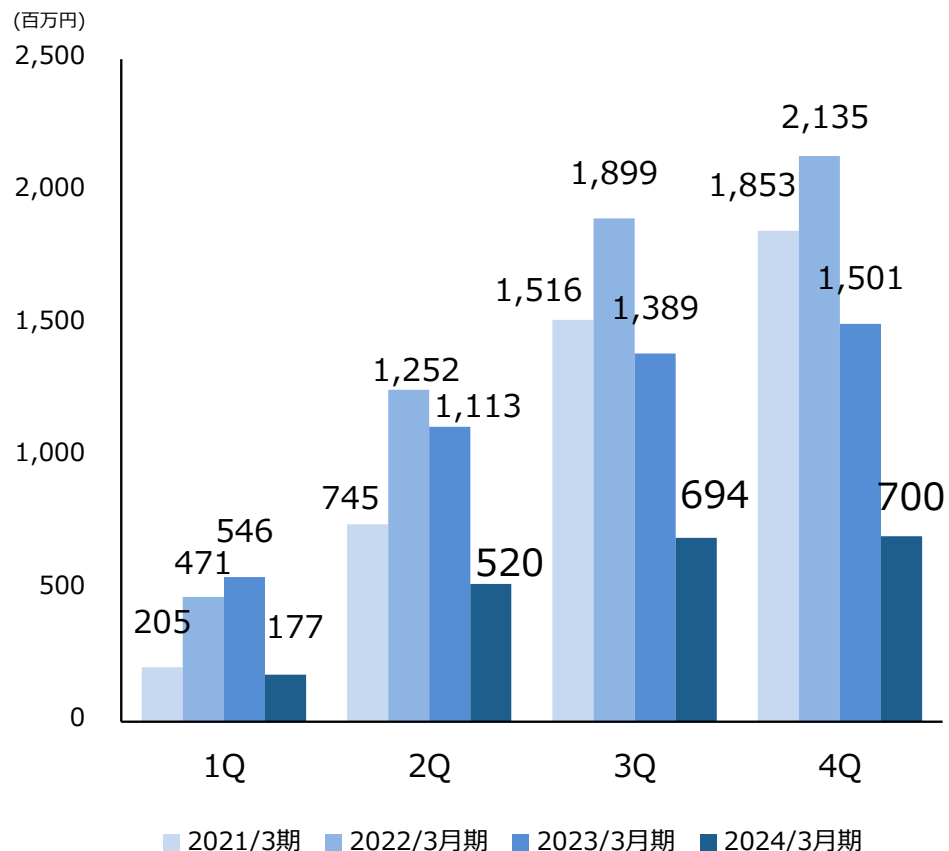
出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査（大手50社調査）」

2024年3月期 四半期累計推移

四半期累計売上収益

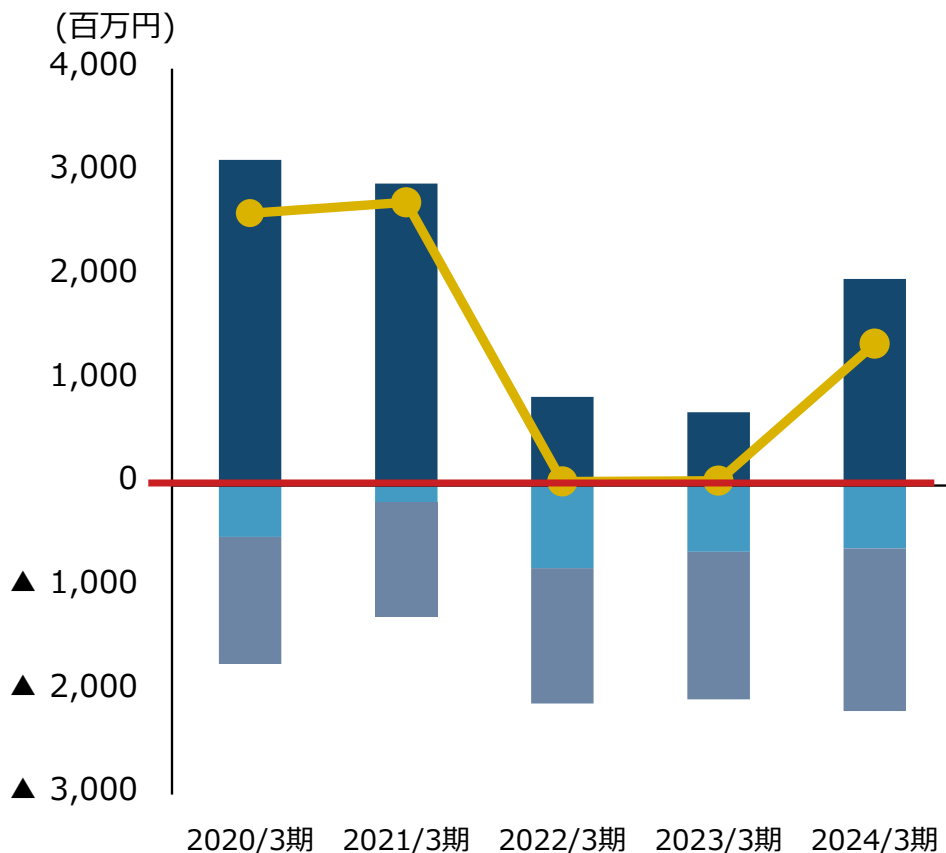


四半期累計営業利益



キャッシュ・フロー計算書増減要因

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ● フリーCF(営業CF+投資CF)



営業キャッシュフロー

(百万円)
+1,973

税引前利益	+652
減価償却費	+592
棚卸資産の減少	+223
営業債権及びその他の債権の減少	+237
営業債務及びその他の債務の増加	+395
法人取得税の支払額	▲362

投資キャッシュフロー

▲626

有形固定資産の取得による支出	▲615
----------------	------

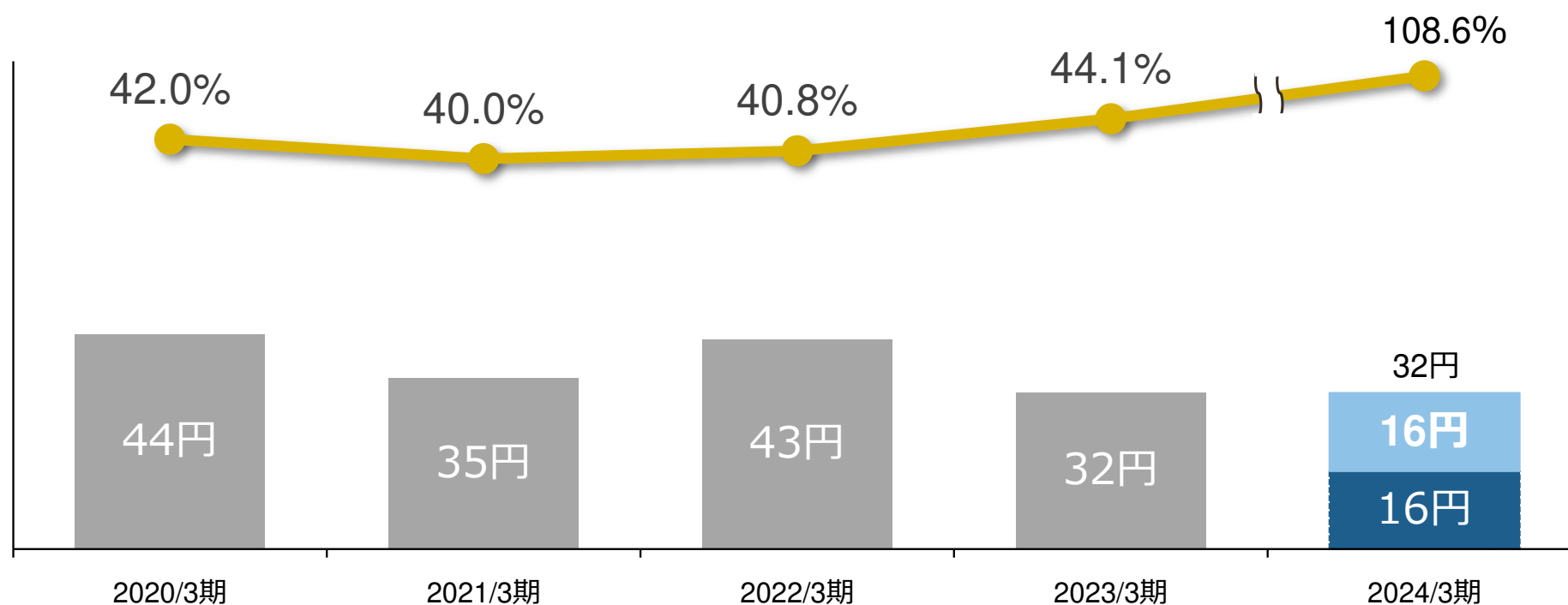
財務キャッシュフロー

▲1,569

長期借入金の借入による収入	+2,500
長期借入金の返済による支出	▲3,250
配当金の支出	▲667

配当の実施状況

2024年3月期は実施済みの中間配当16円と、期末配当16円を合わせて、1株当たり配当金は32円を株主に還元



| Chapter 03 |

2025年3月期 業績見通し

SHINWA CO.,LTD.

2025年3月期 通期連結業績予想

当社の業績回復とヤグミグループを加えたことによる収益貢献、事業連携強化の結果、連結売上高は160億円、連結営業利益は16億円を見込む。

(IFRS・百万円)

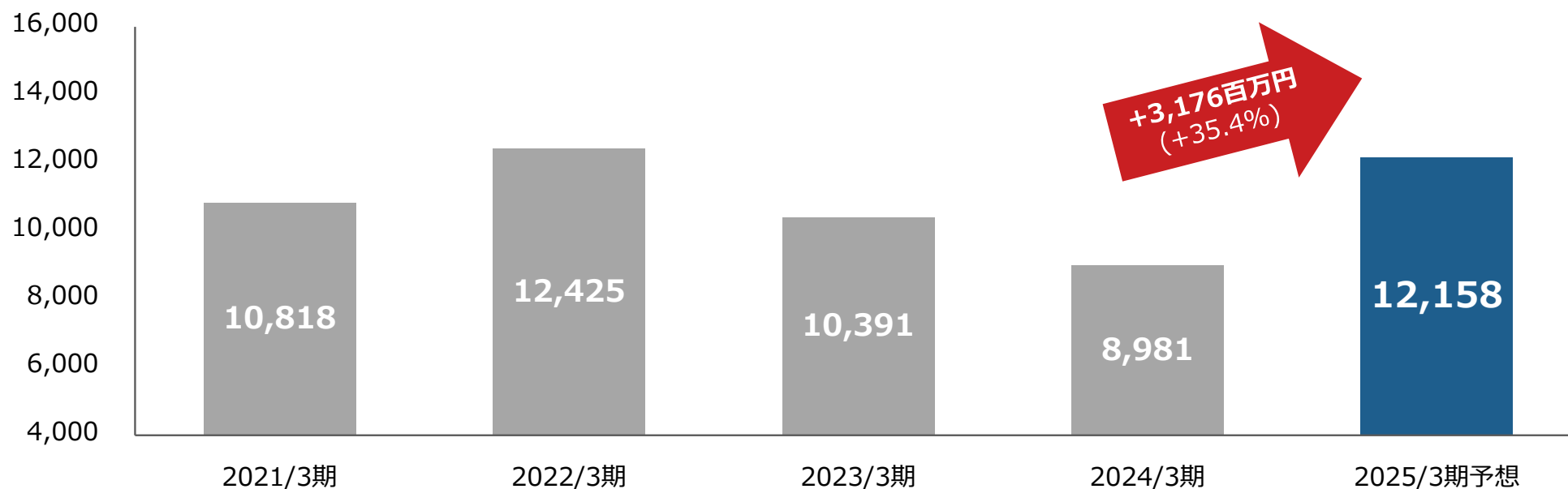
	第2四半期累計			通期		
	2024年3月期 実績 (売上比)	2025年3月期 予想 (売上比)	前期比 増減額 (増減率)	2024年3月期 実績 (売上比)	2025年3月期 予想 (売上比)	前期比 増減額 (増減率)
売上収益	6,621 (100.0%)	6,647 (100.0%)	+25 (+0.4%)	12,678 (100.0%)	16,000 (100.0%)	+3,321 (+26.2%)
営業利益	520 (7.9%)	495 (7.4%)	▲25 (▲4.9%)	700 (5.5%)	1,600 (10.0%)	+899 (+128.5%)
税引前利益	496 (7.5%)	441 (6.6%)	▲55 (▲11.2%)	652 (5.1%)	1,494 (9.3%)	+841 (+129.0%)
親会社の所有者に帰属 する当期利益	339 (5.1%)	296 (4.5%)	▲43 (▲12.9%)	409 (3.2%)	1,000 (6.3%)	+590 (+144.1%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	24.43	21.29	▲3.14	29.46	71.91	+42.45
1株当たり 年間配当金(円)	16.0	16.0	—	32.0	32.0	—

業績見通し 仮設資材部門

既存のくさび緊結式足場、次世代足場及び安全措置資材などの需要は、一定水準以上が継続。
加えて、インフラ関連製品の拡販、高付加価値製品及びサービスの開発と普及促進、ヤグミグループによる仮設資材の施工サービスが収益貢献

売上収益の見通し

(百万円)

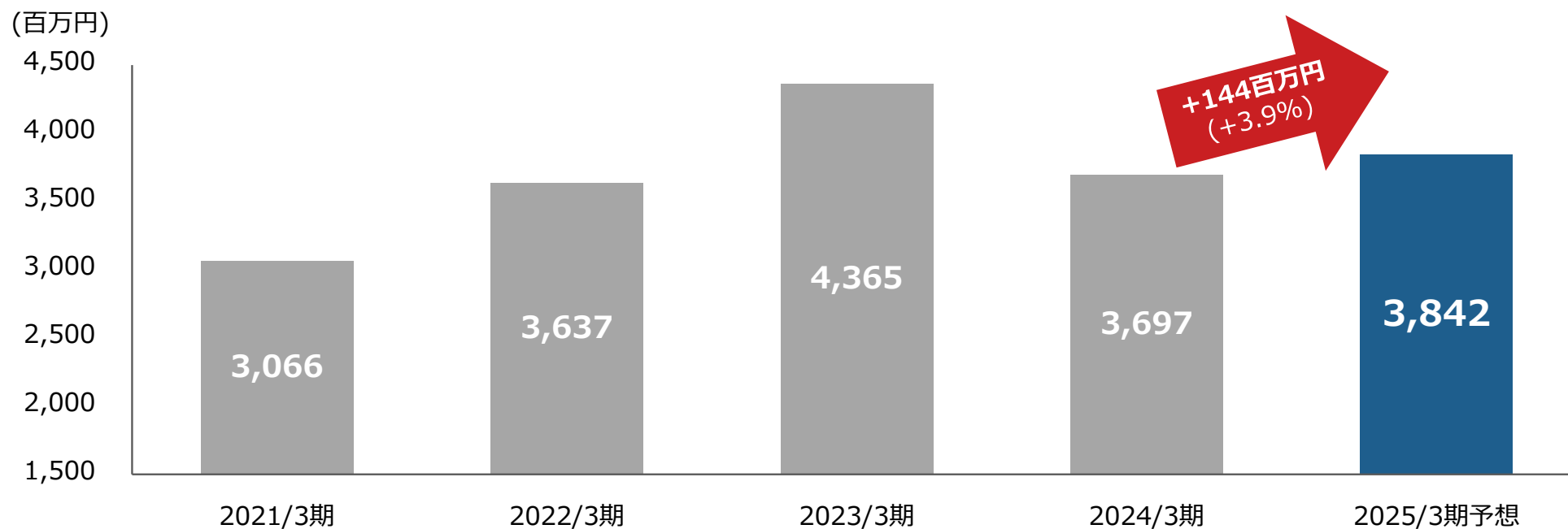


業績見通し 物流機器部門

液体搬送用バルクコンテナ、物流倉庫向けラックなどは引き続き堅調。

加えて、電気機器向け資材搬送用パレットを見込むほか、幅広い分野での新規案件の拡販に取り組む。

売上収益の見通し



| Chapter 04 |

中期経営計画の概要

SHINWA CO.,LTD.

中期経営計画の財務数値について

	2024年3月期実績	2025年3月期予想	2027年3月期目標	2029年3月期目標
売上収益（百万円）	12,678	16,000	17,500	20,000
営業利益（百万円）	700	1,600	1,900	2,400
税引前利益（百万円）	652	1,494	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益（百万円）	409	1,000	—	—
EBITDA（百万円）	1,311	2,300	2,500	3,000
EPS（円）	29.46	71.91	91.51	114.57
ROE	2.7%	6.4%	7.4%	8.5%
一株当たり年間配当金（円）	32.0	32.0	—	—
配当性向	108.6%	44.5%	40%以上	

キャッシュの調達と配分について

キャッシュ・イン（調達）

5期間の営業C/F

70~80 億円

有利子負債

有利子負債残高と自己資本のバランスを考慮しつつ
投資資金として積極的に活用する方針

キャッシュ・アウト（配分）

5期間の
投資計画 **20** 億円以上

既存設備の更新・拠点の拡張・レンタル資産への投資を想定

5期間の
株主還元 **20~30** 億円

有利子負債の返済

追加投資

魅力的なM&A案件に対しては今後も積極的に投資を行う方針

PBR改善に向けた取り組みについて



詳細は、下記リリースをご参照ください。

「中期経営計画の策定に関するお知らせ」 (http://data.swcms.net/file/shinwa-jp/ja/news/auto_20240509586274/pdfFile.pdf)

ESGの取り組み



Environment

持続可能な社会への貢献

- 環境負荷軽減型製品の開発、カーボンニュートラル業界への効率的な製品供給
- CO2排出削減を目指した取り組み（車両の電動化、排出モニタリング）
- 廃棄物の削減推進（歩留まり改善、ペーパーレス化）



Social

働き方やダイバーシティ推進

- 社会課題解決を目的とした事業推進
- 人材の育成強化
- 職場環境の整備
- ダイバーシティとインクルージョンの向上
- 地域活性化支援



Governance

透明性を意識した健全な企業経営

- 実効性の高いガバナンスの実践（社外役員の登用等）
- 投資家との建設的な対話（IRの充実）

持続的な成長と企業価値の向上へ

注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

信和株式会社

岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部 署 — 経営企画部

T E L — 0584-66-4436

e-mail — ir@shinwa-jp.com